

保育所から 養護学校入学
四年から 地域に戻り
中学校から 高校進学を目指す
自閉症の息子と 私の生き方
結構 チャレンジング

定員割れで
重度の療育手帳を持つ
自閉症児が公立高校合格
奇跡が
本当になった

支援学校に電話して
入学辞退を申し出る
おめでとうございます
と言われ
照れる

子の差し出す
難問に
ひるむな
考えろ
ここが私の正念場

「負ける」しか見えない
弱さを抱えた私の子
それを超えていけとは言わない
その中で気持ちよく
生きていってくれ

期限付き職員採用試験の朝も
障害の息子がトイレいたずら
これで、運が付いた！
なんて
言ってみる

人生に「上がり」はないから
いくつになっても
悩み事は生まれてくるんだ
それにしても障害を持つ子の
親亡き後を託せるところが欲しい

もうボロボロですねぇ
なんて言いながら
笑ってる
仕事があつて
障害者の息子がいて

独語激しい息子がぼそつと
「まさか、私がハンザイシャ・・・」
ほんまいろいろやってくれたね
当時の非難の声が
今ごろ心に刺さってくる

ぎゃっ こんなところに
よだれの海
「よだれ天国♪」
と言ってみる
不思議に楽しくなってくる

この頃
浮かぶのは
幼かった頃の息子の姿
大きな目がかわいかった
福耳だとほめられた
障害なんて言葉知らなかった

（↓五行歌は、まれに4行、6行でもOKなんです）
以上、五行歌集『緑の星』『コケッコの妻』より
障害という言葉になじみのなかった私ですが、
障害児を授かり、結構たいへんな思いもしてきましたが、その分深く広い世界を見ることができて
いるのかなあと思います。